



第83回日本循環器学会学術集会 ランチョンセミナー33

高齢者の 心不全とBNP



座長 **磯部 光章** 先生 榊原記念病院

高齢者のBNP値

演者 **川井 真** 先生 東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科

傘寿者(80歳以上の高齢者)の心不全を考える

演者 **和泉 徹** 先生 新潟南病院

日時 **2019年3月30日(土)**
12:10~13:00

会場 **パシフィコ横浜
会議センター 4階 418**

ランチョンセミナーへの参加にはセミナーチケット(無料)が必要です。
チケットはセミナー開始5分後に無効となりますのでご注意ください。

共催セミナー整理券発行所

- ・パシフィコ横浜 展示ホール A
- ・パシフィコ横浜会議センター 1階 ホワイエ
- ・JCS Abstracts 内 JCS2019 アプリ

配布日時

3月30日(土) 7:00~11:40
※JCS2019 アプリのみ、7:30~
の発券開始となります。

【共催】第83回日本循環器学会学術集会
塩野義製薬株式会社 / 東ソー株式会社 / 株式会社LSIメディエンス /
アボット ジャパン株式会社 / 積水メディカル株式会社 / 富士レビオ株式会社

高齢者の心不全とBNP

高齢者のBNP値

川井 真 東京慈恵会医科大学 内科学講座 循環器内科

高齢者の心不全を考える上においても、血中BNP値は診断や治療効果判定の評価に重要な検査である。先にリアルワールドにおけるBNP値の実態把握として行った、多施設共同研究であるJ-ABS (Japanese Abnormal standard BNP) 研究の結果から、高齢者のBNP値に関する見解を紹介する。

J-ABS研究は、何らかの理由で循環器外来を受診された方を対象とし、臨床的に重要な器質的心疾患を検出する、BNPのカットオフ値を検証した報告である。そのなかでBNP値に関係する諸要因、特に全年齢に対するBNP値の推移から、高齢者における血中BNP値に関して注目する。

鋭敏で簡便で世界規模で広く普及しているBNP検査が、高齢者の心臓を考える上でどのように役立つかを考えてみたい。

傘寿者(80歳以上の高齢者)の心不全を考える

和泉 徹 新潟南病院

日本のような少子・超高齢社会の基本命題は傘寿者対応にある。傘寿者心不全はその代表格である。如何に適切に対応し、次世代・次々世代負担を緩和するのか、が問われている。現在は出口探しの真っ只中にある。

独歩退院出来、セルフケアライフを享受できる傘寿者は申し分ない。出来得る限り多く創出したいものである。そのため的心臓リハビリは正しく機能しているであろうか? 現状では、結果として凡そ10%の患者に限られる。40%の患者は急性期医療の甲斐もなく、院内死亡や介護搬送を受け入れざるを得ない。残る50%の傘寿者心不全が何とか歩行退院できる。しかし広く介護支援を必要とする。この大多数への対応こそが喫緊課題である。

BNPをはじめとするバイオマーカーや画像診断を駆使し、Less is moreのコンセプトのもと包括的リハビリ活動、DOPPOリハビリの果たすべき役割は大きい。傘寿者の尊厳を守り、次世代・次々世代負担を軽減する道である。その効用と課題について参加者の皆様とともに考えを共有したい。